

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公開番号】特開2012-1206(P2012-1206A)

【公開日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2011-130298(P2011-130298)

【国際特許分類】

B 6 0 C 9/18 (2006.01)

B 6 0 C 9/20 (2006.01)

B 6 0 C 9/22 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 9/18 K

B 6 0 C 9/20 B

B 6 0 C 9/22 G

B 6 0 C 9/20 D

B 6 0 C 9/18 H

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月10日(2014.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

カーカスとベルト補強構造とを有する空気入りタイヤであって、

前記ベルト補強構造は、中央円周面に対して5度以下の角度に配置されている複数のコードをそれぞれ有する第1、第2、および第3のベルト層であって、前記第2のベルト層は前記第1のベルト層の半径方向内側に位置しており前記第1のベルト層よりも狭い幅を有し、前記第3のベルト層は前記第2のベルト層の半径方向内側に位置しており前記第2のベルト層よりも広い幅を有している、第1、第2、および第3のベルト層と、前記第1のベルト層の半径方向外側に位置しているジグザグのベルト補強構造と、を有し、

前記ジグザグのベルト補強構造は、複数のコードからなる2つの層を構成しており、前記複数のコードは、タイヤの中央面に対して5～30度だけ傾いており、交互に各側縁の方向転換点まで延びており、

前記第1、第2、および第3のベルト層のうちの1つは、前記ジグザグのベルト補強構造よりも広い

ことを特徴とする空気入りタイヤ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

前記ジグザグのベルト補強構造は第1のジグザグのベルト補強構造と第2のジグザグのベルト補強構造とを含み、前記第2のジグザグのベルト補強構造は、前記第1のジグザグのベルト補強構造の半径方向外側に位置しており、前記第1のジグザグのベルト補強構造よりも狭い幅を有する、請求項10に記載の空気入りタイヤ。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

ラジアルカーカスプライコード繊維はナイロンである、請求項10に記載の空気入りタイヤ。